脊椎圧迫骨折の新治療

BKP

Balloon KyphoPlasty
（経皮的椎体形成術）

BKPとは・・・

脊椎圧迫骨折でつぶれてしまった椎体を、

骨折前の状態に近づけて安定させることで

早期に痛みを軽減し生活の質（QOL）を向上させます。

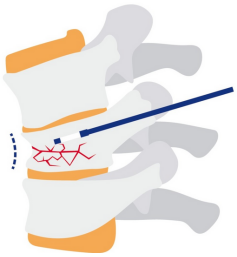
手術対象の方

骨粗しょう症による脊椎圧迫骨折の方
（保存的治療によっても背中の痛みが改善されない方）

手術方法

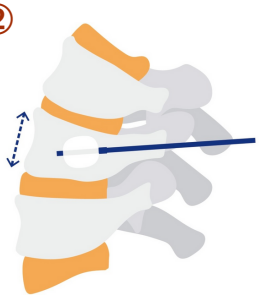
手術は全身麻酔をして行います。ベッドにうつぶせに寝た状態で、バルーン（風船）状の手術器具や、医療用の充填剤（骨セメント）を用い、レントゲンの透視装置で骨の状態を確認しながら手術を行います。

①



背中から針を刺入し、骨折した椎体への細い経路を作ります。そこへ小さな風船のついた器具を入れます。

②



椎体の中に入れた風船を徐々に膨らませ、つぶれた骨を持ち上げてできるだけ骨折前の形に戻します。

③

椎体の中に入れた風船を抜くと、椎体内に空間ができます。その空間を満たすように骨セメントを充填します。

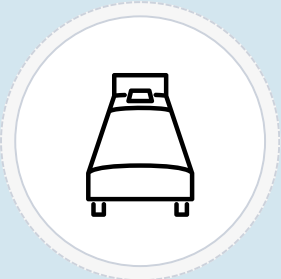
④

手術は1時間程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります。

治療の特徴

傷跡が少ない

手術時間が短い
（約1時間）



入院期間が短い
（約1週間）

保険適用可

よくあるご質問

Q1.BKP治療をすると、痛みはとれますか？
A1.痛みの原因が、圧迫骨折によるものと判断された場合は、手術後に痛みが改善します。
（骨折の状態や患者さんの健康状態により、効果には差があります）

Q2.治療後の傷跡はどのくらいになりますか？
A2.背中を2箇所（1㎝弱）だけ切開しますので、大きな傷跡が残ることはありません。

Q3.長期間入院する必要はありますか？
A3.通常、１週間程度の入院が必要となります。

Q4.公的保険は適用されますか？
A4.2011年1月から保険適用されており、また高額医療費制度の対象です。
（患者さんの年齢や所得によって上限額が異なります）

Q5.BKP治療の適応外はありますか？
A5.骨折した骨の数や形、全身の健康状態等によっては、BKPを安全かつ有効に行なうことができないためにBKP治療の対象とならない場合もあります。

井上病院ではBKP治療が必要な患者さんの紹介を承っております。
まずは井上病院（整形外科）までご相談ください。

社会医療法人愛仁会　井上病院
地域連携センター　地域医療連携室
TEL:06-6368-7441 / FAX:06-6368-7440